

令和4（2022）年度

女性の地域活動推進セミナー（女性教育指導者研修）

第2回 実施報告

実施日：令和4（2022）年8月23日（火）

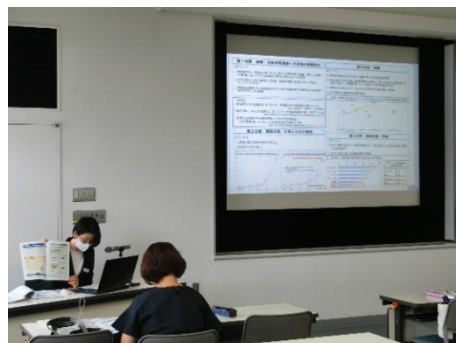
女性の地域活動推進セミナー（女性教育指導者研修）の第2回研修は、「とちぎ男女共同参画センター（パーティ）」を会場に行いました。

午前に「男女共同参画社会ってなに？」と題しての講話と、パーティ施設見学を行いました。午後は、グループ研究①「研究計画の立案」を行いました。

講話「男女共同参画ってなに？」

とちぎ男女共同参画センター 主幹兼所長補佐（総括）兼事業推進課長 大根田 知子氏

講話の前半は、男女共同参画社会の定義や男女共同参画社会の歴史的な背景などについての説明がありました。次に、日本の男女共同参画社会の達成状況について、【ジェンダーギャップ指数】による説明がありました。2022年7月13日に公表された結果では、日本が146か国中116位であることが示されました。【ジェンダーギャップ指数】とは、経済、政治、教育、健康の4つの分野の男女の格差を数値化したものです。特に日本では、教育や健康分野での男女の格差は少なくなりつつあるものの、女性の国会議員数や企業の女性管理職数など、指導的立場の女性の数が非常に少ないことが課題であるという説明がありました。



講話の後半は、固定的性別役割分担意識や男性の長時間労働、育児休業について、また女性活躍に向けたポイントを、ワークライフバランスの視点から丁寧に説明していただきました。さらに、男女共同参画社会の推進に向けた取組を一層推進するために令和2年12月に策定された「とちぎ男女共同参画プラン〔5期計画〕」にふれ、男女共同参画社会を実現するための本県の取組について説明がありました。

受講者は男女共同参画社会について理解を深め、今後の研究で女性の視点からの地域活動について考えたいという意欲を高めていました。

とちぎ男女共同参画センター施設見学

とちぎ男女共同参画センターの小林様の案内で、施設見学を行いました。

大小さまざまな広さの研修室や講演会などで使用するホール、男女共同参画や女性教育関係の資料が充実したライブラリーコーナーなどを見学し、今後のグループ研究や、所属する団体の活動で活用する参考になったようです。



グループ研究①「研究計画の立案」

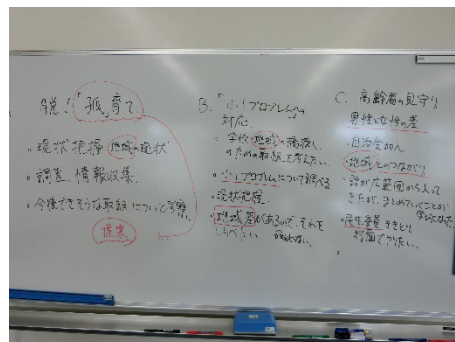
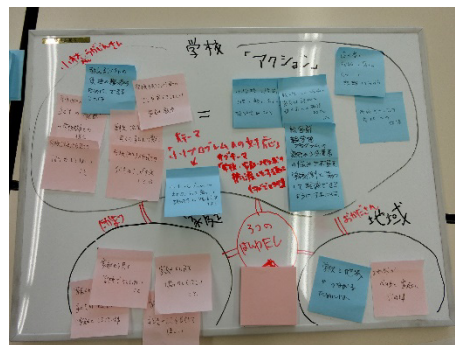
午後の研修は、グループ研究を行いました。グループの役割分担を決め、研究テーマの設定と研究計画の作成などを行いました。

A班は「子育て支援」という大テーマのもと、「脱・孤育て」という研究テーマで、孤立した子育てをしない、させない、やらせないために、地域で何ができるのかを考えていくことに決まりました。

B班は「学校支援」という大テーマのもと、「小一プロブレムへの対応～学校・家庭・地域の橋渡しをするために何ができるか～」という研究テーマで、小一プロブレムにならないために、自分たちに何ができるのかを考えていくことに決まりました。

C班は「高齢社会」という大テーマのもと、「高齢者の見守り～男性と女性の活躍の機会の差について～」という研究テーマで、まず各地域の現状を調べ、そこから自分たちに何ができるのかを考えていくことに決まりました。

受講者は、限られた時間と条件の中でしたが、積極的に意見を出し合い、班長を中心に研究内容や研究の分担などを決めて、スムーズに研究計画を作っていました。



＜受講者の感想から＞

- ・グループ研究で、意欲あるみなさんとの話し合いは楽しくとても勉強になりました。意見を出し合い、まとめていく方法など体感することができました。
- ・ひとつのテーマでも視点によって出てくる意見が違うこと、その違う意見が今後の課題となることなど、自分の視野が広がってよかったと思いました。
- ・講話はとても分かりやすく、良い資料を頂け、ありがとうございます。男女共同参画、家庭教育、生産力、全てがWinWinになるのは難しいことなんだろうとつくづく考えさせられました。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp